

～日東紡と共同開発～
セブノーイレブン 流通業界初の脱塩ビ化床材を導入

株式会社セブノーイレブン・ジャパンは、この度、建材の日東紡との共同開発により、床材(プラスチックタイル)の脱塩化ビニル化を実現いたしました。今後は店舗の新築、改装に新床材を採用・導入することといたします。

株式会社セブノーイレブン・ジャパンは、塩化ビニル製品がダイオキシン類発生の原因と言われる中、商品パッケージから建築資材に至る「脱塩ビ化」を推進してきましたが、今回の床材の「脱塩ビ化」は流通業界において初の取り組みとなります。

この床材(ニットータイルオレフ)は、炭素と水素からなるポリオレフィン系の商品で、原料中に塩素を含まず、燃焼時にダイオキシン類発生の心配がありません。

株式会社セブノーイレブン・ジャパンは店舗の環境対策を推進する一環として、床材の「脱塩ビ化」を要望してきましたが、今回、日東紡との一年以上の共同開発期間をかけて製品開発に成功いたしました。

記

●床材の概要

1. 名 称: ニットータイルオレフ
2. 商 品 特 徴: 耐久性や施工性、メンテナンス性も“塩ビ樹脂系”“天然素材系”“非塩ビ樹脂系”と同等もしくはそれ以上の性能で、高いコストパフォーマンス性を有しています。
3. 開発のポイント: セブノーイレブン使用の従来のタイルに比較して
 - ・硬さの改善
 - ・接着性(施工性)の改善
 - ・ワックス適合性(メンテナンス性)の改善

以上

参考資料

セブン-イレブン店舗の環境対策

建 築	①天井内(屋根・天井)及び壁内(外壁ALC)の断熱 ②フロントガラスに断熱フィルムを貼付 ③店舗出入口のドアを自動ドアより手動ドアに変更 ④温度センサー取付けによる換気扇の自動制御
照 明	①店内照明3ゾーンに分け、外部の光量に合わせて店内の光量を自動調節する『連続調光装置』を導入 ②チルドケースの照明器具を省エネタイプに変更(インバータ式安定機) ③店内蛍光灯を省エネタイプに変更(Hf型=高周波点灯型)
看 板	①看板の消し忘れ防止のため、タイマーを設置(自動的に設定時刻で点灯・消灯) ②店頭看板に調光装置を設置(店頭看板の照明を80%調光で点灯)
空 調	①空調機の給気位置の変更による空調システムの効率化 ②暖房の補助ヒーターを中止 ③給排気方法の変更による空調の効率化
販売ケース	①リーチインケース扉への露付きを防ぐため、ヒーターを自動制御する装置の取り付け ②リーチイン本体のケースパネルを組立様式から一体発泡方式へ変更することによる断熱の強化 ③弁当ケースのコンプレッサーを省エネタイプに変更(ロータリー型)
節電装置の導入	●店舗での使用電力の低減およびCO₂排出量の削減を目的に節電装置を全店に導入。店舗における電灯用電力と動力用電力の省エネを図り、1990年対比で1店舗あたり使用電力量を約4%抑制、CO₂排出量を約13%抑制

以上

参考資料

●日東紡について

社 名	日東紡績株式会社
所在地	〒103-0006東京都中央区日本橋富沢町9-10 TEL03-3669-1122
代表者	代表取締役 相良敦彦
設 立	大正7年4月22日
資本金	196億円
事業内容	① 各種繊維、繊維工業品の製造加工及び販売 ② ロックウール、ロックウール製品ならびに各種建築材料の製造加工及び販売 ③ グラスファイバー、グラスファイバー製品の製造加工及び販売 ④ 各種化学工業製品、医薬品の製造加工及び販売 ⑤ 各種工事の設計、監理及び請負 ⑥ 各種機器、装置の設計、製造及び販売 ⑦ 不動産、施設の売買、貸借及び運営管理 ⑧ その他
従業員数	2,600人